

4月1日付で市職員149人が異動しました

職員数は一般職と消防職を合わせて459人に。平成17年の合併時から156人減

市職員の人事異動が4月1日付でありました。課長級以上の異動は次のとおりです。また、今年度の新規採用職員は11人で、3月31日付で15人が退職しました。市長や副市長、教育長などの特別職を除く一般職の職員数は459人。平成17年の1市2町の合併時から156人減りました(かつこ内は前所属)。

■部長 ▼保健福祉部長(兼)福祉事務所長 池末勇人(企画課長) ▼教育部長(併)三橋庁舎長 武田真治(総務課長(併)選挙管理委員会事務局長(併)公平委員会事務局長) ▼会計管理者(兼)会計課長 田島雅彦(健康づくり課長) ▼議会事務局局長 高田啓介(会計管理者(兼)会計課長)

援拠点施設館長) ▼DX推進課長 犬塚将徳(税務課長補佐(兼)市民係係長) 【市民部】 ▼市民課長 成清和政(大和庁舎市民サービス課長) 【保健福祉部】 ▼子育て支援課長(兼)地域子育て支援拠点施設館長 小池由希(子育て支援課長補佐(兼)地域子育て支援拠点施設副館長) ▼健康づくり課長 横山久美(健康づくり課長補佐) 【産業経済部】 ▼水産振興課長 平川昌之(水産振興課長補佐(兼)水産振興係係長) ▼企業誘致推進課長 金子幸喜(福祉課長補佐) ▼観光課 DMO推進室長 川原洋一(DMO推進室長(兼)観光推進係係長) 【教育部】 ▼学校教育課再編推進室長 藤吉康裕(学校教育課長補佐) ▼学校教育首席指導官 野中裕二(福岡県) ▼生涯学習課長 野田学(生涯学習課市民文化会館長(兼)市民文化会館係係長) 【大和庁舎】 ▼市民サービス課長 乗富英一(市民課長)

■退職(係長以上) ▼島添守男(保健福祉部長(兼)福祉事務所長) ▼袖崎朋洋(教育部長(併)三橋庁舎長) ▼白谷通孝(議会事務局局長) ▼横山誓市(水産振興課長) ▼野田真功(学校教育課首席指導官) ▼萩野なぎさ(学校教育課主任指導主事) ▼渡辺貴子(健康づくり課長補佐) ▼高崎千代子(会計課長補佐(兼)会計係係長) ▼江口佐登美(三橋庁舎市民サービス課市民係係長)

■新規採用(かつこ内は所属課) 下の写真前列右から ▼原光司(DX推進課) ▼佐藤百菜(健康づくり課) ▼東島敦子(健康づくり課) ▼日高由佳(福祉課) ▼坂梨七菜(福祉課) ▼友添翼斗(消防本部) 後列右から ▼古賀大貴(学校教育課) ▼佐野真悟(企業誘致推進課) ▼古閑勇貴(財政課) ▼砥上智仁(都市計画課) ▼村井広明(上下水道課)

【問】市人事秘書課人事係 ☎77・8403



フレッシュな力で柳川を元気にすることを誓った11人の新規採用職員

教育長就任のごあいさつ



橋本 秀博 (62歳)

【略歴】昭和63年福岡県教職員採用。平成18年4月教頭。23年4月矢ヶ部小学校校長。令和3年3月定年退職。同年4月皿垣小学校校長(再任用)。令和5年4月から市教育長

します。

■次代の柳川市を担う、確かな学力と豊かな心を身に付け、健康な体をもったたくましい子どもの育成

■心身ともに健康で明るく、意欲に満ち、社会及び地域の一員としての自覚をもって、社会に参画、寄与する市民の育成

沖毅前教育長の後任として教育長を拝命しました橋本秀博です。柳川は38年間家庭生活を営むかけがえのない心の故郷です。恵み豊かな有明海と広大な筑後平野に抱かれ、悠久の歴史に包まれた美しい掘割の景観と、薫り高き文化・風土を持ち合わせるこの柳川で生活することは私の誇りでもあります。この度、愛する水郷柳川で仕事をする機会を与えていただき深く感謝を申し上げます。

市民の皆様の意思を反映しつつ、未来を担う子どもたちのために誠心誠意努めていきます。本年度は、次の3つを基本方針として、生涯学習社会の構築を目指す。

■真理と正義を愛し、命あるものを尊び、他人を思いやり、人権を尊重する市民の育成

特に、小中学校では、「柳川が大好きな子ども」を育成するため、豊かな人間性や志を持ってたくましく生きる子どもを育てる教育を推進していきます。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

みんなの心を豊かにする文化芸術活動の方針が決定

令和5年度から10年間を計画期間にした市文化芸術推進基本計画を策定

市は、今後10年間の文化芸術の方向性を示す文化芸術推進基本計画を策定しました。城下町ならではの歴史や文化が受け継がれている柳川。同計画は、これらの資源を十分に生かして、子どもからお年寄りまで誰もが文化芸術に触れながら心豊かに暮らせるまちへ向けた方針と取り組みを定めたものです。

計画策定にあたり、市出身の洋画家で九州産業大学名誉教授の光行洋子さんから有識者や公募委員など12人で構成する策定委員会を昨年3月に設置。アンケートなどで市民や文化団体へのヒヤリングを実施した他、市民向けワークショップで参加者の意見を吸い上げながら、1年以上かけて計画案を取りまとめました。

3月22日、市役所柳川庁舎を訪れた同委員会の光行会長は、「文化は人間が生きていく中でとても大切なもの」と金子市長へ計画案を提言。市は、この計画案を基に3月末に最終的な計画を策定しました。

目指すは「誇りと愛着のある豊かな暮らし」

計画では、目指す「誇りと愛着のある豊かな暮らし」を実現するため、5つの方向性を設定。それぞれの方向性ごとに取り組むべき基本施策を定めています。今回紹介した計画の全文は市公式サイトで見ることが

計画で示す5つの方向性

- 心豊かに暮らせる文化的なまちづくり
- 文化芸術による社会包摂に向けた場づくり
- 文化芸術活動がさらに活発になる人づくりと環境づくり
- 柳川らしさを活用したまちの魅力づくり
- 文化施設や柳川の資源を活かした土壌づくり

きます。ぜひご覧ください。

今後市は、策定した同計画に沿いながら市民文化会館を拠点に文化芸術活動を推進していきます。

【問】市生涯学習課文化係 ☎77・8836



文化芸術計画